

第24回日本Awake Surgery学会

脳を知り、守る

～脳内ネットワーク時代の覚醒下手術～

7月4日(土) 京都大学 芝蘭会館 2階 稲盛ホール

開会式

9:55～10:00

松本 理器

京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学講座 臨床神経学

施設認定講習会 (ライブ配信)

10:00-11:30

10:00～11:30

座長：藤井 正純 (福島県立医科大学脳神経外科)

手術領域

中田 光俊

金沢大学学長/金沢大学脳神経外科

10:30～11:00

座長：北村 晶 (埼玉医科大学国際医療センター 麻酔科)

麻酔領域

溝田 敏幸

京都大学医学部附属病院手術部/麻酔科

11:00～11:30

座長：鈴木 匡子 (東北大学大学院医学系研究科)

評価領域

二村美也子

福島県立医科大学附属病院リハビリテーションセンター

特別講演

11:30～12:15

座長：松本 理器 (京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学講座 臨床神経学)

Awake surgery of IDH-mutated glioma: a 15 year journey

Emmanuel Mandonnet

Université Paris X, AP-HP

座長：隈部 俊宏（北里大学医学部脳神経外科）
齋藤 竜太（名古屋大学医学部脳神経外科）

SSY-1（指定講演）

覚醒下手術における実践的手技と機能温存の工夫

○山田 良治

東京都立病院機構がん・感染症センター駒込病院脳神経外科

SSY-2 覚醒下脳腫瘍摘出手術における術中 CT 画像診断の有用性と課題

○赤崎 安晴¹⁾、小関 宏和¹⁾、和地 亮門¹⁾、渡邊 信之¹⁾、森 良介²⁾、木田 康太郎³⁾、村山 雄一¹⁾

¹⁾ 東京慈恵会医科大学脳神経外科、²⁾ 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター脳神経外科、

³⁾ 東京慈恵会医科大学麻酔科

SSY-3 脳内ネットワーク温存のための覚醒下手術術前シミュレーションの重要性

○松田 良介¹⁾、横山 昇平²⁾、植村 景子³⁾、林 浩伸³⁾、曾山 茂人⁴⁾、高谷 恒範³⁾、中川 一郎²⁾、
埜中 正博¹⁾

¹⁾ 関西医科大学脳神経外科、²⁾ 奈良県立医科大学脳神経外科、³⁾ 奈良県立医科大学麻酔科、

⁴⁾ 奈良県立医科大学附属病院リハビリテーション科

SSY-4 覚醒下手術における複数モダリティを用いた術中機能評価の工夫

○郡山 峻一¹⁾、小林 達弥¹⁾、呂 聞東¹⁾、鈴木 茉奈¹⁾、都築 俊介¹⁾、田村 学¹⁾、丸山 隆志²⁾、
村垣 善浩³⁾

¹⁾ 東京女子医科大学脳神経外科、²⁾ 宇都宮脳脊髄センター・シンフォニー病院脳神経外科、

³⁾ 神戸大学医学部脳神経外科

共催：ブレインラボ株式会社

シンポジウム 1（脳を知る）

座長：本村 和也（静岡県立静岡がんセンター脳神経外科）

松田 良介（関西医科大学脳神経外科）

commentator：Emmanuel Mandonnet（Université Paris X, AP-HP）

S1-1（基調講演）

最先端脳イメージングと覚醒下手術はいかに脳理解に貢献するか？

○林 拓也

国立研究開発法人理化学研究所 生命機能科学研究センター

S1-2 初回摘出と再摘出で異なる発症・回復過程を示した補足運動野症候群

○小林 達弥¹⁾、郡山 峻一¹⁾、呂 聞東¹⁾、鈴木 茉奈¹⁾、田村 学²⁾、都築 俊介¹⁾、丸山 隆志³⁾、
村垣 善浩⁴⁾、林 基弘¹⁾

¹⁾ 東京女子医科大学脳神経外科、²⁾ 東京女子医科大学先端生命医科学研究所先端工学外科学分野、

³⁾ 宇都宮脳脊髄センター・シンフォニー病院脳神経外科、⁴⁾ 神戸大学医学部脳神経外科

S1-3 脳腫瘍症例における言語機能の可塑性に関する考察

○齋藤 竜太¹⁾、大岡 史治¹⁾、青木 恒介¹⁾、出口 彰一¹⁾、芝 良樹¹⁾、佐藤 威仁²⁾、秋山 浩一²⁾

¹⁾ 名古屋大学脳神経外科、²⁾ 名古屋大学麻酔科

S1-4 グリオーマ症例に対する複数回覚醒下手術における機能局在の変化の特徴

○中嶋 理帆¹⁾、木下 雅史²⁾、沖田 浩一³⁾、玉井 翔²⁾、中田 光俊²⁾

¹⁾ 金沢大学リハビリテーション科学領域、²⁾ 金沢大学脳神経外科、

³⁾ 金沢大学附属病院リハビリテーション部

- S1-5 SMA 前頭内側結合障害における発話開始障害の回復代償経路一般臨床から覚醒下手術への神経生理学的フィードバック**
○安栄 良悟
医療法人元生会森山病院脳神経外科
- S1-6 運動野近傍神経膠腫に対する覚醒下手術運動ネットワークの観点から再考する connectome-guided surgery の検討**
○石橋 謙一¹⁾、四宮 一剛¹⁾、田中 孝憲¹⁾、西山 徹¹⁾、劉 兵¹⁾、西嶋 脩悟²⁾、西山 太郎²⁾、森迫 拓貴²⁾、津曲 優³⁾、山条 美沙樹³⁾、服部 紘美⁴⁾、後藤 剛夫⁵⁾
¹⁾ ベルランド総合病院脳神経外科、²⁾ 大阪市立総合医療センター脳神経外科、
³⁾ 大阪市立総合医療センターリハビリテーション科、⁴⁾ 大阪市立総合医療センター中央臨床検査部、
⁵⁾ 大阪公立大学脳神経外科

一般演題 2

16:05-16:50

座長：山口 秀（北海道大学脳神経外科）
中条 公輔（大阪公立大学脳神経外科）

- O2-1 当院で施行した覚醒下手術 109 例の検討**
○青木 恒介¹⁾、大岡 史治¹⁾、出口 彰一¹⁾、芝 良樹¹⁾、本村 和也²⁾、齋藤 竜太¹⁾
¹⁾ 名古屋大学脳神経外科、²⁾ 静岡県立静岡がんセンター脳神経外科
- O2-2 前頭葉 IDH 変異型神経膠腫に対する覚醒下手術中における陰性運動ネットワークの同定と術後症状の変化**
○中条 公輔、田上 雄大、一ノ瀬 努、後藤 剛夫
大阪公立大学脳神経外科
- O2-3 グリオーマに対する覚醒下手術前後の QOL および認知機能の変化 EORTC QLQ-C30、QLQ-BN20 および WAIS-IV を用いた検討**
○本村 和也¹⁾、近藤 正規²⁾、飯沼 千博¹⁾、榎場 美穂⁴⁾、田尻 寿子³⁾、加藤 るみ子³⁾、八木 理沙³⁾、賀川 円佳³⁾、結城 士³⁾、神田 亨³⁾、真田 恵子³⁾、土屋 繁治³⁾、水野 大輔³⁾、伏屋 洋志⁵⁾、江間 義朗⁶⁾、三矢 幸一¹⁾
¹⁾ 静岡県立静岡がんセンター脳神経外科、²⁾ 名古屋大学脳神経外科、
³⁾ 静岡県立静岡がんセンター リハビリテーション室、⁴⁾ 静岡県立静岡がんセンター 緩和医療科、
⁵⁾ 静岡県立静岡がんセンター リハビリテーション科、⁶⁾ 静岡県立静岡がんセンター 麻酔科
- O2-4 高齢者における覚醒下脳腫瘍摘出術の課題**
○山口 秀、伊師 雪友、山本 大慈、藤村 幹
北海道大学脳神経外科
- O2-5 覚醒下手術後の自動車運転再開の現状と課題**
○田尻 寿子¹⁾、加藤 るみ子¹⁾、岩瀬 優花²⁾、八木 理沙¹⁾、賀川 円佳¹⁾、結城 士¹⁾、榎場 美穂³⁾、神田 亨¹⁾、真田 恵子¹⁾、土屋 繁治¹⁾、水野 大輔¹⁾、伏屋 洋志¹⁾、近藤 正規⁴⁾、飯沼 千博⁴⁾、三矢 幸一⁴⁾、本村 和也⁴⁾
¹⁾ 静岡県立静岡がんセンター リハビリテーション室、²⁾ 静岡県立総合病院、
³⁾ 静岡県立静岡がんセンター 緩和医療科、⁴⁾ 静岡県立静岡がんセンター脳神経外科
- O2-6 当院における覚醒下脳手術症例の検討 —リハビリテーション科介入の役割と重要性—**
○高島 英昭
長崎大学病院リハビリテーション科

座長：大岡 史治 (名古屋大学大学院医学系研究科)

鎌田 恭輔 (市立千歳市民病院)

commentator：Emmanuel Mandonnet (Université Paris X, AP-HP)

S2-1 ECS と event-related passive マッピングの原理に基づいた誘発症状の解析○鎌田 恭輔¹⁾、瀧川 修吾¹⁾、貝嶋 光信²⁾、福田 博²⁾¹⁾ 市立千歳市民病院脳神経外科、²⁾ 恵み野病院脳神経外科**S2-2 右半球病変に対する新規視空間認知課題を用いた覚醒下手術の初期治療成績**

○廣野 誠一郎、李 晟賢、小林 正芳、松谷 智郎、樋口 佳則

千葉大学医学部脳神経外科

S2-3 覚醒下マッピング・CCEP・SCCEP・MEP・SCMM 併用による手術精度向上の検討○遠藤 乙音¹⁾、藤井 健太郎¹⁾、和田 健太郎¹⁾、加藤 信靖¹⁾、岩田 拓也¹⁾、有馬 一²⁾、
宮松 千栄³⁾、中西 恭子⁴⁾、岡田 健¹⁾¹⁾ 愛知県厚生連海南病院脳神経外科、²⁾ 愛知県厚生連海南病院麻酔科、³⁾ 愛知県厚生連海南病院生体検査部、⁴⁾ 愛知県厚生連海南病院言語療法室**S2-4 ネガティブマッピングのための皮質マッピングにおける刺激強度の検討**○大岡 史治¹⁾、青木 恒介¹⁾、出口 彰一¹⁾、芝 良樹¹⁾、道場 浩平¹⁾、山本 裕泰²⁾、松井 泰行²⁾、
佐藤 威仁³⁾、秋山 浩一³⁾、齋藤 竜太¹⁾¹⁾ 名古屋大学脳神経外科、²⁾ 名古屋大学医学部附属病院リハビリテーション部、³⁾ 名古屋大学麻酔科**S2-5 転移性脳腫瘍における定位放射線治療後の再発・放射線壊死に対する salvage surgery と
しての覚醒下手術の有用性**○横山 昇平¹⁾、松田 良介²⁾、山田 研吾¹⁾、植村 景子³⁾、林 浩伸³⁾、曾山 茂人⁴⁾、高谷 恒範⁵⁾、
押 沙織⁴⁾、中瀬 健太¹⁾、森崎 雄大¹⁾、川口 昌彦³⁾、中川 一郎¹⁾¹⁾ 奈良県立医科大学脳神経外科、²⁾ 関西医科大学脳神経外科、³⁾ 奈良県立医科大学麻酔科、⁴⁾ 奈良県立医科大学付属病院医療技術センター、⁵⁾ 奈良県立医科大学付属病院中央手術部**S2-6 症候性の転移性脳腫瘍に対する覚醒下手術を応用した低侵襲手術の提案**

○丸山 隆志、橋本 智貴、金 彪

宇都宮脳脊髄センター シンフォニー病院

S2-7 白質ネットワークを意識した awake surgery

～subcortical mapping を用いた CSD tractography の妥当性検証～

○齊藤 邦昭¹⁾、佐々木 重嘉¹⁾、石井 翼²⁾、佐藤 遼太¹⁾、古屋 春菜¹⁾、酒井 亮輔¹⁾、
小林 啓一¹⁾、永根 基雄¹⁾、田中 洋次¹⁾¹⁾ 杏林大学医学部脳神経外科、²⁾ 杏林大学医学部付属病院リハビリテーション室

閉会式

18:00~18:05

次期会長挨拶

鎌田 ことえ 東北大学医学部麻酔科学・周術期医学分野

閉会挨拶

松本 理器 京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学講座 臨床神経学

懇親会 (参加費無料)

18:20~19:30

2階 ロビー

7月4日(土) 京都大学 芝蘭会館 2階 山内ホール

ランチョンセミナー (日本脳神経外科学会領域講習単位付与セッション)

12:20-13:20

座長：小林 勝哉 (京都大学医学部附属病院脳神経内科)

LS 神経障害性疼痛のマネジメント

○梅林 大督

京都府立医科大学大学院医学研究科脳神経機能再生外科学

共催：第一三共株式会社

スイーツセミナー

15:40-16:30

座長：荒川 芳輝 (京都大学大学院医学研究科脳神経外科学)

SS 覚醒下手術の脳機能マッピングと抗てんかん発作薬の選択

ー抗てんかん作用と認知機能への影響を考察ー

○増田 洋亮

筑波大学 医学医療系 脳神経外科/筑波大学附属病院 てんかんセンター

共催：ユーシービージャパン株式会社

一般演題 1

14:40-15:30

座長：齋藤 邦昭 (杏林大学医学部脳神経外科)

赤崎 安晴 (東京慈恵会医科大学脳神経外科)

○1-1 覚醒下開頭手術時に薬液注入型尿道カテーテルを使用し、尿道膀胱不快感の訴えなく麻酔管理を行った2症例

○宮島 沙希¹⁾、植村 景子¹⁾、林 浩伸¹⁾、松田 良介²⁾、川口 昌彦¹⁾

¹⁾ 奈良県立医科大学麻酔科学教室、²⁾ 関西医科大学脳神経外科学

○1-2 覚醒下手術周術期における握力発揮の時間特性評価

○馬場 千夏¹⁾、山脇 理恵¹⁾、堀川 陽一郎¹⁾、重松 謙太¹⁾、池口 良輔²⁾、荒川 芳輝³⁾

¹⁾ 京都大学医学部附属病院リハビリテーション部、²⁾ 京都大学医学部附属病院リハビリテーション科、

³⁾ 京都大学大学院医学研究科脳神経外科学

○1-3 選択的脳領域麻酔による新規脳機能マッピングの有用性

○大沢 伸一郎¹⁾、鈴木 匡子²⁾、柿沼 一雄²⁾、菊地 花²⁾、浮城 一司³⁾、石田 誠³⁾、勝瀬 一登²⁾、
太田 祥子²⁾、金森 政之¹⁾、下田 由輝¹⁾、新妻 邦泰⁴⁾、神 一敬³⁾、遠藤 英徳¹⁾

¹⁾ 東北大学大学院医学系研究科神経外科学分野、²⁾ 東北大学大学院医学系研究科高次機能障害学分野、

³⁾ 東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野、

⁴⁾ 東北大学大学院医工学研究科神経外科先端治療開発学分野

○1-4 覚醒下手術中の物品呼称課題に対するアイトラッキングによる視線動態解析

○藤井 正純¹⁾、蛭田 亮¹⁾、二村 美也子²⁾

¹⁾ 福島県立医科大学脳神経外科学講座、²⁾ 福島県立医科大学附属病院リハビリテーションセンター

- 1-5 悪性神経膠腫に対する覚醒下開頭手術におけるペランパネル単剤療法の有用性と安全性**
 ○出口 彰一¹⁾、瀬瀬 雄太¹⁾、大岡 史治¹⁾、青木 恒介¹⁾、芝 良樹¹⁾、佐藤 威仁²⁾、秋山 浩一²⁾、
 齋藤 竜太¹⁾
¹⁾ 名古屋大学脳神経外科、²⁾ 名古屋大学麻酔科
- 1-6 頭部固定しない覚醒下手術**
 ○隈部 俊宏、犬飼 円、佐藤 澄人、柴原 一陽
 北里大学医学部脳神経外科
- 1-7 覚醒下手術に感染リスク増大はあるか？— 文献レビューと当院での解析 —**
 ○芝 良樹、大岡 史治、青木 恒介、出口 彰一、齋藤 竜太
 名古屋大学脳神経外科

一般演題 3 CASE LESSONS

16:35-17:10

座長：木下 雅史（金沢大学脳神経外科）
 高田 茂樹（京都大学医学部脳神経外科）

- 3-1 覚醒下開頭腫瘍摘出術後に失語悪化した 1 症例の検討**
 ○田部井 勇助、内藤 智順、石川 久、須磨 健、大山 健一
 国際医療福祉大学三田病院脳神経外科
- 3-2 日本語と中国語のバイリンガル患者における覚醒下マッピング-2 症例の経験と言語ごとの機能局在について-**
 ○小関 宏和¹⁾、濱本 将太郎²⁾、山田 実李³⁾、小原 健輔³⁾、向當 由奈³⁾、武石 英晃¹⁾、
 安保 雅博⁴⁾、木田 康太郎⁵⁾、村山 雄一¹⁾、赤崎 安晴¹⁾
¹⁾ 東京慈恵会医科大学脳神経外科、²⁾ 東京慈恵会医科大学西部医療センター初期研修医、
³⁾ 東京慈恵会医科大学附属病院リハビリテーション科、
⁴⁾ 東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座、⁵⁾ 東京慈恵会医科大学麻酔科
- 3-3 術中覚醒下に手話課題を行い、手話も含めた言語機能を温存できた、てんかん焦点切除術施行例**
 ○梶本 智史¹⁾、菊池 隆幸²⁾、出村 彩郁²⁾、白石 恵¹⁾、山下 智之²⁾、青山 慎平²⁾、武山 博文³⁾、
 小林 勝哉³⁾、宇佐美 清英⁴⁾、澤田 真寛²⁾、吉田 健司⁵⁾、松本 理器³⁾
¹⁾ 京都大学小児科、²⁾ 京都大学脳神経外科、³⁾ 京都大学脳神経内科、⁴⁾ 京都大学検査部、
⁵⁾ 京都大学てんかん・運動異常生理学講座
- 3-4 右矢状層後方白質刺激により前庭・視覚統合ネットワークの存在が示唆された右頭頂葉グリオーマの 1 例**
 ○一ノ瀬 惇也、木下 雅史、中嶋 理帆、木村 亮堅、中田 光俊
 金沢大学脳神経外科
- 3-5 覚醒下手術中に尾状核頭部近傍刺激で一過性覚醒変容を呈したグリオーマの 1 例**
 ○木下 雅史¹⁾、中嶋 理帆²⁾、玉井 翔¹⁾、一ノ瀬 惇也¹⁾、中田 光俊¹⁾
¹⁾ 金沢大学脳神経外科、²⁾ 金沢大学リハビリテーション科学領域

座長：中江 俊介（藤田医科大学医学部脳神経外科）
澤田 真寛（京都大学医学部脳神経外科）

○4-1 覚醒下手術中覚醒不良の予測因子に関する単施設後方視的研究

○高田 茂樹、山本 悦子、池田 宏之、佐野 徳隆、澤田 真寛、丹治 正大、峰晴 陽平、
菊池 隆幸、荒川 芳輝

京都大学医学部脳神経外科

○4-2 覚醒下手術中における術中けいれん発作の危険因子の探索

○河内 大輔¹⁾、松岡 藍子²⁾、辻 知恵子²⁾、大野 誠¹⁾、柳澤 俊介¹⁾、大村 鷹希¹⁾、青木 拓磨¹⁾、
藤井 源太¹⁾、齋藤 孝司¹⁾、成田 善孝¹⁾

¹⁾ 国立がん研究センター中央病院脳脊髄腫瘍科、²⁾ 国立がん研究センター中央病院 リハビリテーション室

○4-3 覚醒下手術中の誘発発作に基づく症状誘発帯の同定とてんかん原性領域の検討

○川瀬 希依留、中江 俊介、公文 将備、甲斐 恵太郎、大場 茂生、廣瀬 雄一

藤田医科大学脳神経外科学講座

**○4-4 覚醒下開頭腫瘍摘出術周術期における加速度センサを用いた手指機能の定量的評価の試み
3 事例による探索的解析**

○堀川 陽一郎¹⁾、山脇 理恵¹⁾、馬場 千夏¹⁾、重松 謙太¹⁾、池口 良輔²⁾、荒川 芳輝³⁾

¹⁾ 京都大学医学部附属病院 リハビリテーション部、²⁾ 京都大学医学部附属病院 リハビリテーション科、

³⁾ 京都大学大学院医学研究科 脳神経外科学

○4-5 Super-Selective Wada Test と灌流 CT による新たな機能マッピングと覚醒下手術適応決定

○中江 俊介¹⁾、早川 基治¹⁾、公文 将備¹⁾、川瀬 希依留¹⁾、今村 彰吾²⁾、佐藤 百合子²⁾、
稲本 陽子³⁾、大場 茂生¹⁾、廣瀬 雄一¹⁾

¹⁾ 藤田医科大学医学部脳神経外科、²⁾ 藤田医科大学病院リハビリテーション部、

³⁾ 藤田医科大学保健衛生学部リハビリテーション科

○4-6 眼窩前頭皮質は、ヒトにおける随意運動の実行を制御する

○澤田 真寛、青山 慎平、出村 彩郁、Yao Yang、山本 悦子、高田 茂樹、佐野 徳隆、
丹治 正大、峰晴 陽平、菊池 隆幸、荒川 芳輝

京都大学医学部脳神経外科